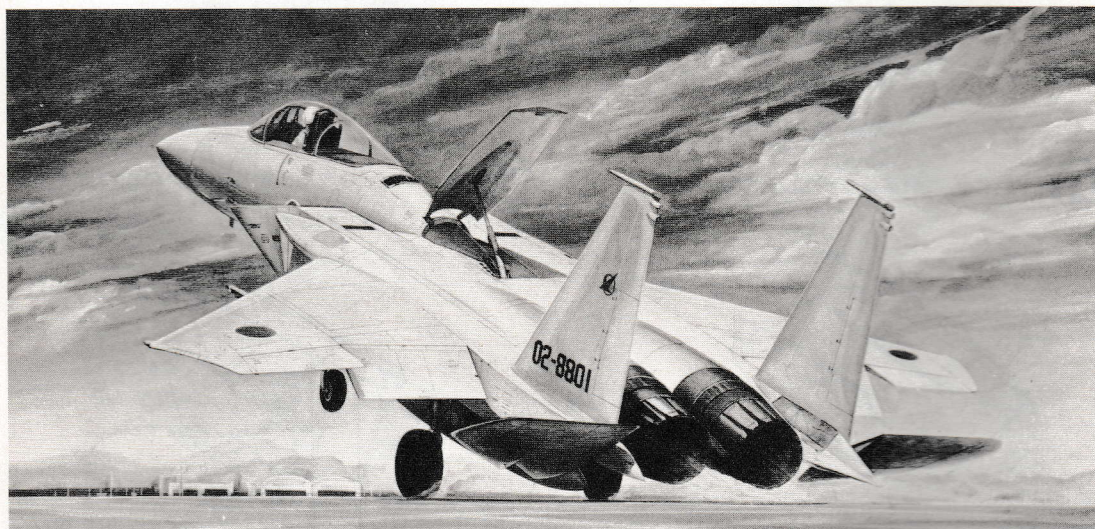


McDONNELL DOUGLAS F-15J EAGLE

1/48 SCALE FAMOUS FIGHTER SERIES NO.48

日本航空自衛隊 要撃戦闘機 マクダネル・ダグラス F-15J イーグル



〈F-15 イーグルについて〉

F15イーグルの誕生のきっかけとなったのはベトナム戦争において旧式な亜音速戦闘機ミグ17の活躍とミグ19、21など一連のミグ戦闘機がアメリカ最新鋭機F105、F111、F4などを圧倒したことによる事実から始まる。それは北ベトナム上空での空中戦が新しいタイプの空中戦であったことに由来する。

1969年6月ノースアメリカン、フェアチャイルド、マクダネルダグラスの三社に対して新戦闘機計画提案要求は低空、亜音速領域での優れた運動性をもった機動力の高い戦闘機の開発を求めたものであった。

1969年12月、F15の開発はマクダネルダグラス社に決定し、その後、開発は順調に進み1972年6月27日、一号機が初飛行に成功、現在ルーク基地などを中心にして部隊配備が進んでいる。

F15の本質とは低空での高い機動性と強力な対地攻撃能力(要撃能力)、F4にもまさる高々度性能など万能性能を守りつつ新しい空軍のシステムの中で制空戦闘を受け持つのがF15なのである。F15の高性能の秘密は大出力エンジン(P&WF100超音速ターボファンエンジン)を搭載し機体重量を徹底的に軽くすることによって推力重量比を高め大きな主翼をもつことによって翼面荷重を低く押さえている点にある。重量の点から見るとF4より大きいにもかかわらずはるかに軽い。その理由は構造材料にチタニウム合金、ボロン、ハニカムを多量に使用した事チタニウムはジュラルミンに比べて軽くて丈夫で構造重量に占めるチタニウム合金の割合はF15の場合26.9%に達し

チタニウム合金の使用は機体強度を高めるとともにF15の激しい機動戦闘に耐えるだけの強さを与えている。

又、F15の主翼前縁は翼端に行くほどねじり下げになる固定カンバーをもつ非常にスッキリした単純な構造である。固定カンバー翼は超音速時の抵抗が大きいが亜音速域での機動性については可変カンバーと同じだけの効果が得られる。固定カンバーの方が重量的には軽く亜音速域での機動性を重視するF15にとっては固定カンバーを用いて軽量化を図っている。又、火器管制装置ヒューズAPG63レーダーをもつことによりFCSの最大探知距離は180km以上になりミサイルの誘導と機関砲の照準を広い射角に渡って行なえ最新エレクトロニクス技術により装置自体の軽量化と操作の自動化によりパイロット1名で操作ができるようにしてある。F15の主翼面積はF4より15%も大きく、それによって重量はF4より軽いのだから翼面荷重は画期的に低い値である。又、F15の前縁後退角は45°である。これらのようにF15は軽量化した機体に大出力ターボファンエンジンをもち極めて大きな推力重量比を得て低い翼面荷重とあいまって高い機動性をもった優秀な制空戦闘機である。

この他に、いろいろな面で時代の最先端に位置している。まず離着陸滑走距離はF4よりも28%短かくアプローチ速度も6%低い。

又、整備性については各装置の部品数が少なく電子装置などの各系統には自蔵テスト装置が付けられ修理の時はほとんどコンポーネントだけの交換ですんでしま

う。このために飛行時間当りの整備マンパワーは現用のどんな飛行機よりも低い値を示している。これらの点で整備性、安全性、信頼性は抜群である。F15の複座型(TF-15)も単座機7機に対して1機の割で生産され機体外形に大きな変化を加えることなく複座にできるようにになっている。このようにF15イーグルはあらゆる点でトータルファイターと呼ぶにふさわしい現在最高の制空戦闘機である。

F-15Jは、航空自衛隊がF-104Jに代わる戦闘機として選ばれた最新鋭機で、50年に次期戦闘機の候補として、スウェーデンのヒゲン、英独伊3国共同開発のMRCA(トーンード)、フランスのミラージュF1-M53、アメリカのF-14、F-15、YF-16、YF-17の7機種が上げられ、防衛庁は次期戦闘機としてF-15に決定した。F-15は、4個飛行隊100機を装備する事になっている。53年6月に発注したF-15J2機とDJ6機のうち、J型2機は56年3月27日に岐阜基地に到着、航空実験団に所属し、約6ヶ月間実用試験が行なわれ、日本で開発したレーダー警報装置J/APR-4のテストも含まれている。その後1機は九州の新田原基地へ引渡され、11月末にDJ4機がアメリカから、12月に国産1号機が納入され、6機のF-15で飛行隊が編成される。その後、北海道の千歳基地に2飛行隊、新田原基地にもう1飛行隊が編成される予定である。F-15JとF-15A/Cとの外観上の違いは左垂直尾翼頂部のTEWSアンテナポッドの有無である。

パーツリスト

(●くろまるは不要部品)

A 部品

1. 胴体 (上)
2. 胴体 (下)
3. 機首
5. エヤインテーク B (左)
6. エヤインテーク B (右)
7. エヤインテーク A (右)
8. エヤインテーク A (左)
9. キャノピー枠
10. エアブレーキ

B 部品

1. 主翼下 (左)
2. 主翼下 (右)
3. 主翼上 (左)
4. 主翼上 (右)
5. 垂直尾翼 (左)
6. 垂直尾翼 (右)
7. 水平尾翼 (右)
8. 水平尾翼 (左)

C 部品

1. 主脚支柱 (左)
2. 主脚支柱 A (左)
3. 主脚柱 (左)
4. 電子機器
5. ファン (左)
6. ファン (右)
7. 主脚支柱 A (右)
8. レーダー A
9. 主脚柱 (右)
10. エヤインテークカバー
11. エキゾースト
12. コックピット
13. ラダー C
14. ビト管
15. 主脚支柱 C (左)
16. 主脚支柱 (右)
17. エアブレーキ支柱
18. キャノピー開閉シリンダー
19. 前輪 B
- 20. 前輪 A
21. シート
22. 前脚柱
23. 主脚アーム
24. 前脚カバー B
25. 計器盤
26. 床板
27. パイロット
28. 地上整備兵
29. 後板
30. 隔壁
- 31. 主車輪 (外)
32. 主車輪 (内)
33. レーダー B
34. 整備兵台
35. エキゾースト
36. 操縦桿
37. 前脚カバー A
38. スロットルレバー
39. シート後板
40. 主脚カバー A (左)
41. 主脚カバー A (右)
42. 主脚カバー C (右)
43. 主脚カバー C (左)
44. 主脚カバー B (右)
45. 主脚カバー B (左)
46. ラダー A
47. ラダー B
48. ラダー D
49. アレスターフック (閉)
50. 電子装置 B
51. 主脚支柱 C (左)
52. 前脚支柱 A
53. アレスターフック (開)
54. 主車輪 (外)
55. 前輪 (A)
56. マスバランス (小)
- 57. マスバランス (中)
- 58. EOM アンテナポッド

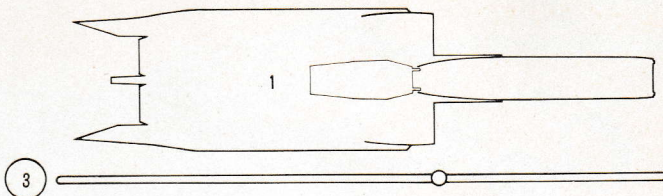
D 部品

1. 前部風防
2. 後部風防
3. ランディングライト (下)
4. ランディングライト (上)
5. HUD

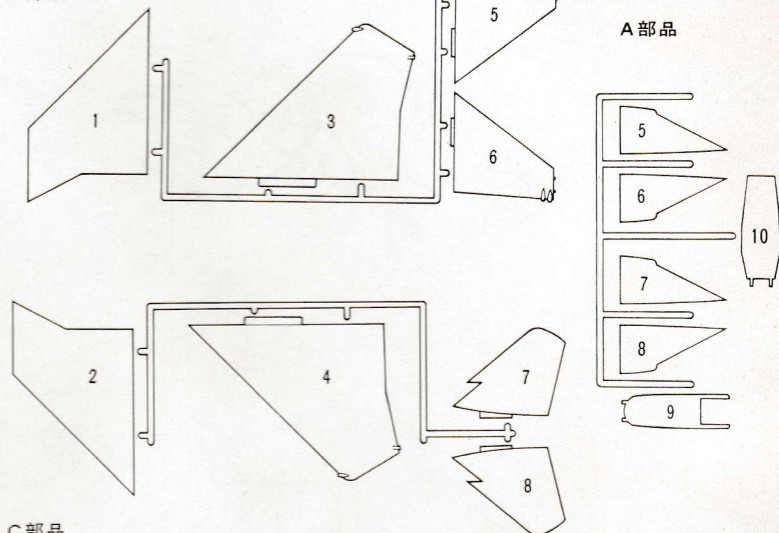
E 部品

1. サイドウィンダー前翼
2. EOMパイロン
3. 主翼下パイロン
4. サイドウィンダー
5. 胴体タンク (右)
6. 胴体タンク (左)
7. スパロー (左)
8. スパロー (右)
9. スパロー羽根 (後)
10. サイドウィンダー後翼
11. タンク (右)
12. タンク (左)
13. サイドウィンダー取付架
14. ジャミングポッド
15. スパロー前羽根

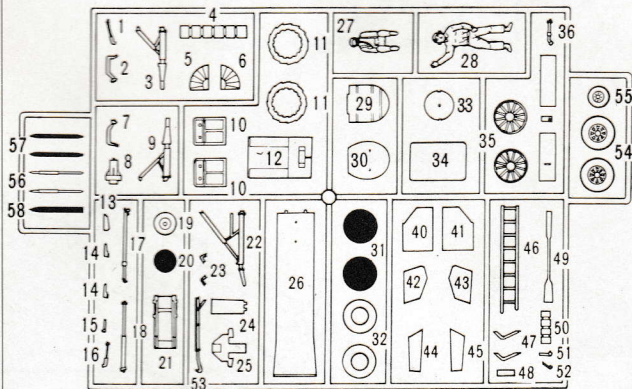
A 部品



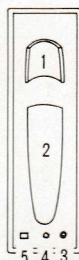
B 部品



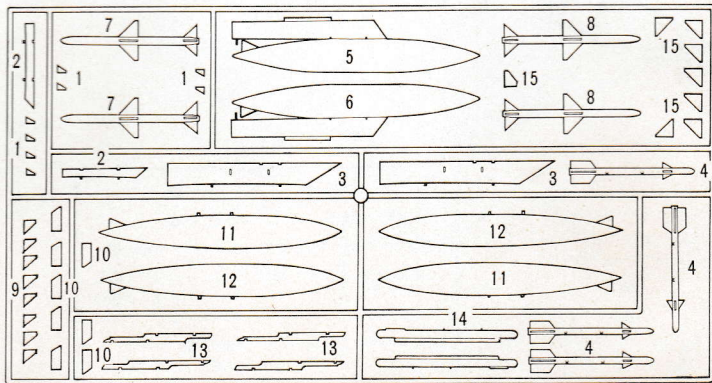
C 部品



D 部品



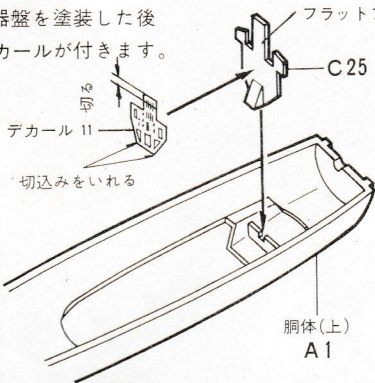
E 部品



※①～⑫の番号はモデルカラーの番号です。

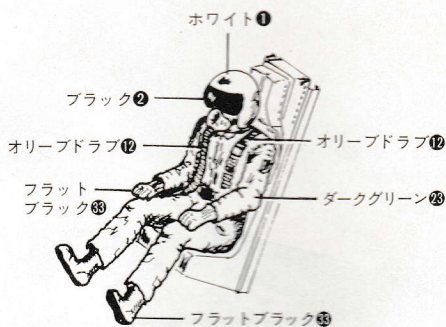
1 計器盤の取り付け

★計器盤を塗装した後
デカールが付きます。



<パイロット>

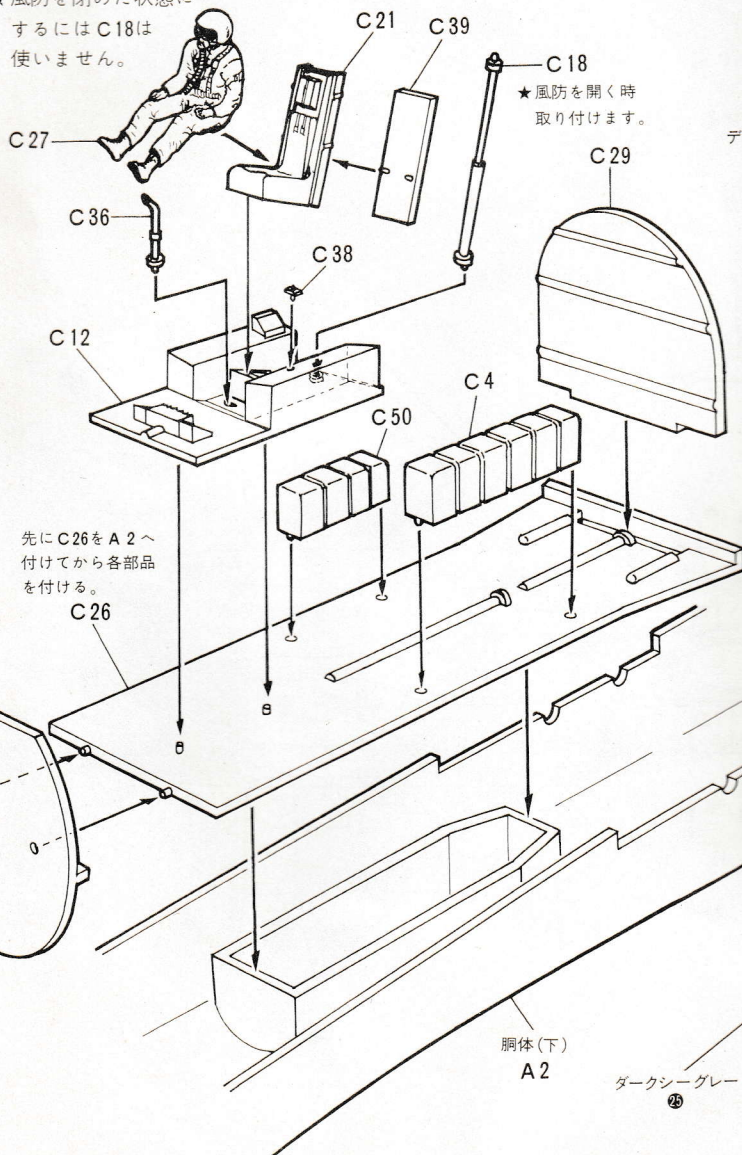
★パイロットは塗装してからシート
に接着します。



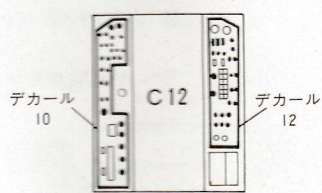
2 操縦席の組み立て

★コックピットC12にデカールをはってから
組み立てます。

★風防を開めた状態に
するにはC18は
使いません。



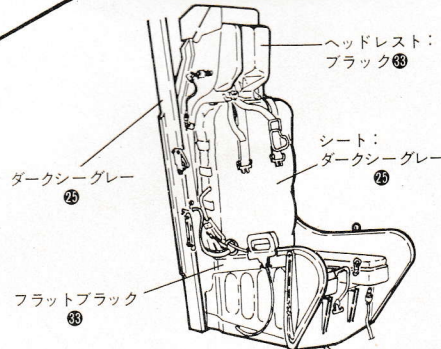
<コックピット計器盤> 前面



PAINT

操縦桿 C36	—	シルバー⑧
	(頭部)	ブラック②
スロットル C38	—	フラットブラック③③
コックピット C12	—	ダークシーグレー②②
キャノピー開閉 C18	—	メタリックグレー⑧+⑩
シリンダー C18	—	
床板 C26	—	ダークシーグレー②②
隔壁 C29, C30	—	ダークシーグレー②②
電子装置 C50, C4	—	ダークシーグレー②②

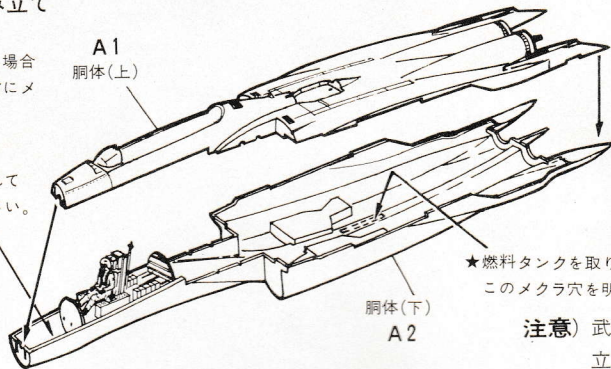
<パイロットシート>



3 胴体の組み立て

注) 燃料タンクを取付ける場合は胴体を組み立てる前にメクラ穴を明けます。

★少量のオモリ(粘土)を入れて後部がつくのを防いで下さい。



★お断わり

S.T基準の為、粘土は入っておりません、天然粘土、紙粘土等を使用して下さい。

★燃料タンクを取り付ける場合はこのメクラ穴を明けて下さい。

注意) 武装を取り付ける場合は主翼を組み立てる前にメクラ穴を明けます。

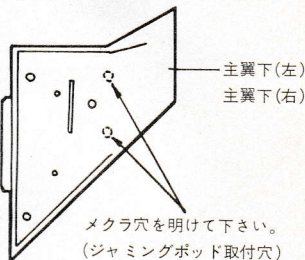
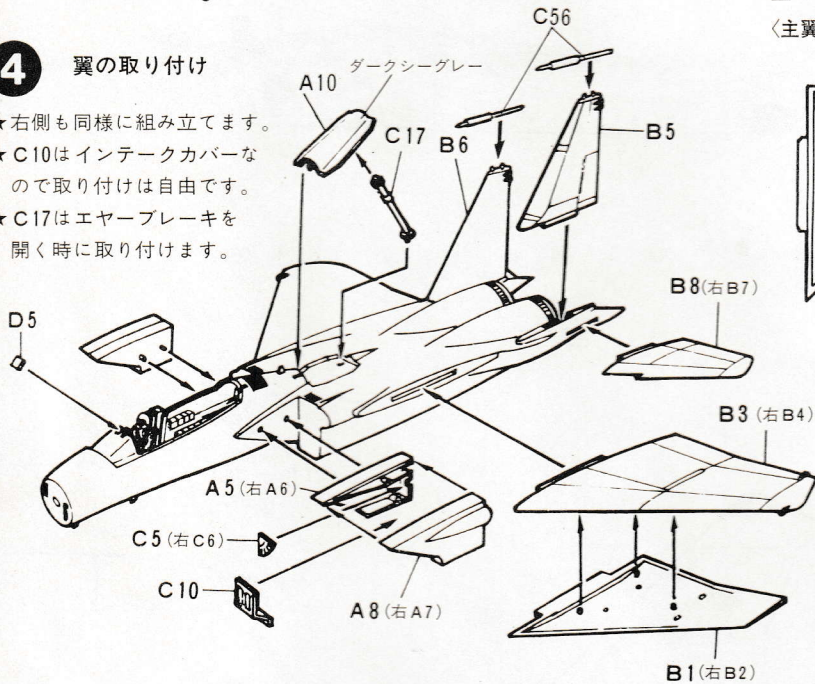
〈主翼下に武装を取り付ける場合〉

4 翼の取り付け

★右側も同様に組み立てます。

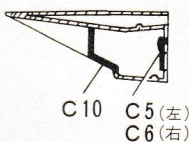
★C10はインテークカバーなので取り付けは自由です。

★C17はエアーブレーキを開く時に取り付けます。



メクラ穴を明けて下さい。
(ジャミングポッド取付穴)

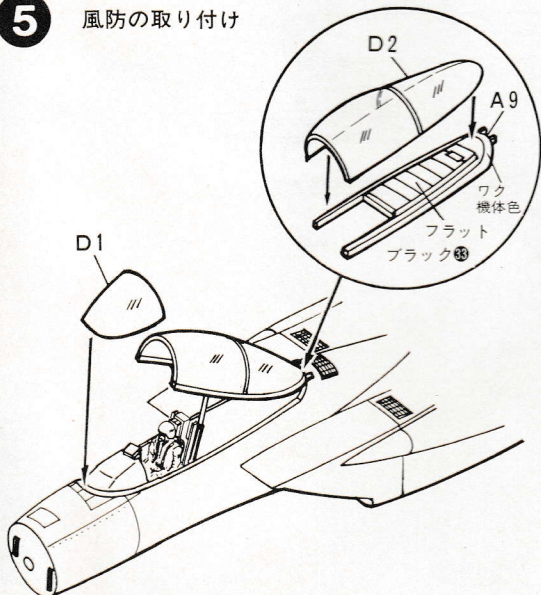
〈インテーク断面〉



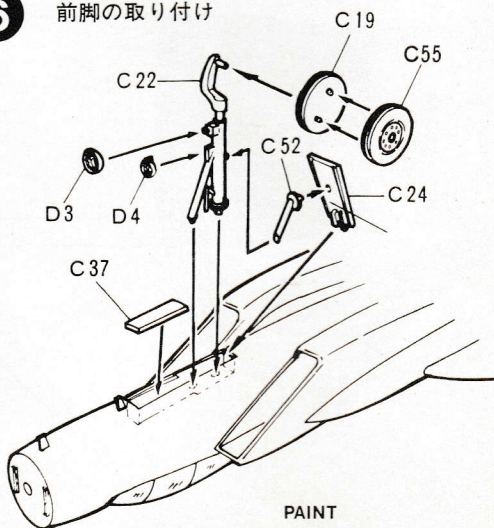
PAINT

エアーブレーキ支柱 — メタリック
C17 — グレー⑧+⑨
ファン C5、C6 — シルバー⑧
エアーインテーク — レッド③
カバー C10

5 風防の取り付け



6 前脚の取り付け

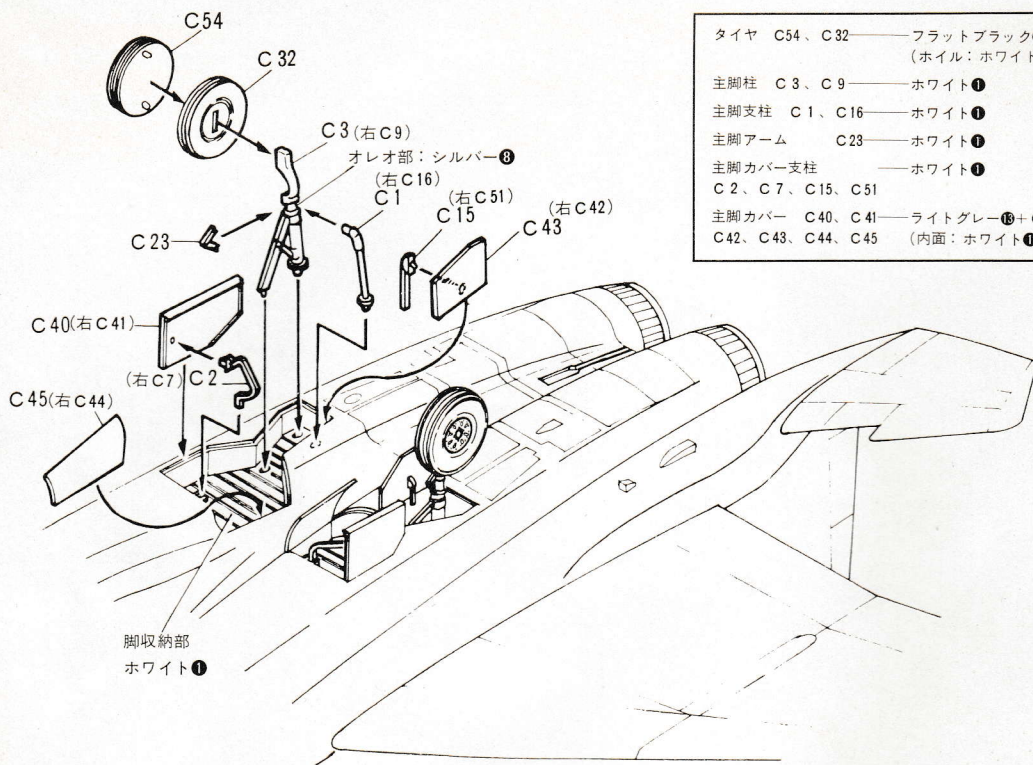


PAINT

タイヤ C19、C55 — フラットブラック⑧
(ホイール: ホワイト①)
前脚柱 C22 — ホワイト①
前脚支柱 C52 — ホワイト①
脚カバー C24、C37 — ライトグレー⑧+⑨
(内面: ホワイト①)
ライト D3、D4 — シルバー⑧

7 主脚の取り付け

★右側も同様に組み立てます。

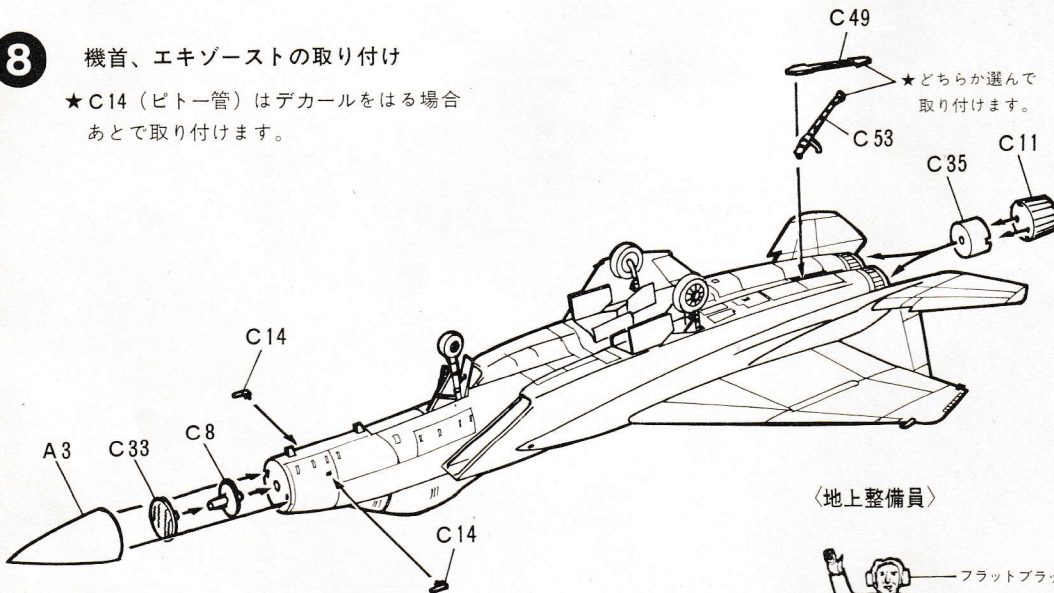


PAINT

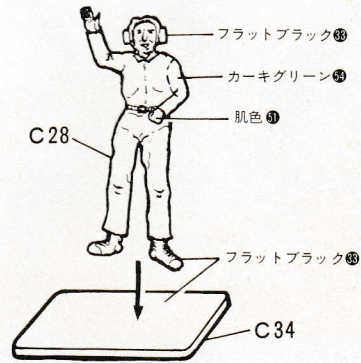
タイヤ C54、C32	フラットブラック⑬
	(ホイール: ホワイト①)
主脚柱 C3、C9	ホワイト①
主脚支柱 C1、C16	ホワイト①
主脚アーム C23	ホワイト①
主脚カバー支柱 C2、C7、C15、C51	ホワイト①
主脚カバー C40、C41	ライトグレー⑬+⑭
C42、C43、C44、C45	(内面: ホワイト①)

8 機首、エキゾーストの取り付け

★C14 (ビーター管) はデカルをはる場合あとで取り付けます。



〈地上整備員〉



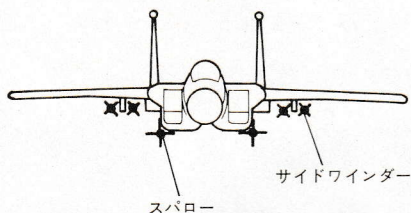
PAINT

レーダー C33、C8	シルバー⑧
ビーター管 C14	シルバー⑧
アレスターフック (閉) C49	ライトグレー⑬+⑭
アレスターフック (開) C53	フラットホワイト⑫とフラットブラック⑬のストライプ
エキゾースト C11	焼鉄色⑩ (内側・黒鉄色⑫)
エキゾースト C35	黒鉄色⑫

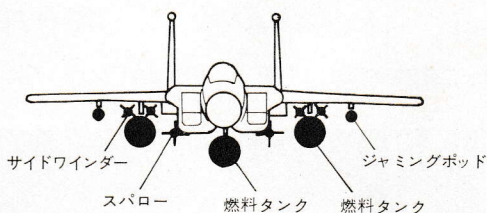
9 装備の取り付け

★装備には下記の種類がありますから、選んでから取り付けて下さい。

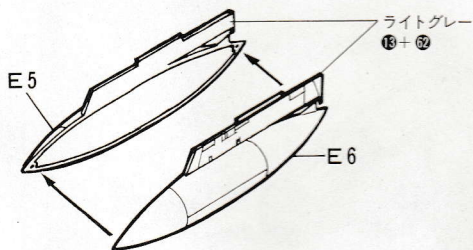
〔制空〕



〔長距離迎撃、戦闘空中哨戒〕

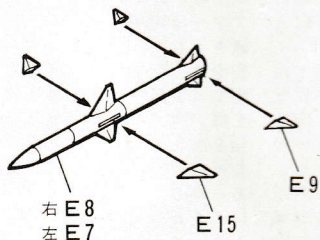


A 胴体、燃料タンクの組み立て



B スパローの組み立て

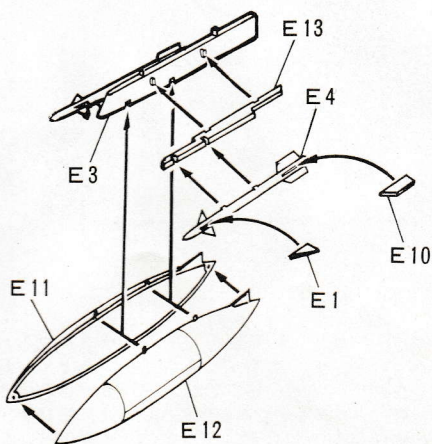
★右2個、左2個組み立てます。



C サイドワインダー、燃料タンクの組み立て

★右側も同様に組み立てます。

★2個組み立てます。

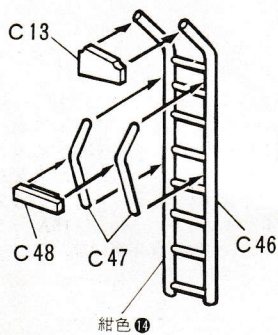


PAINT

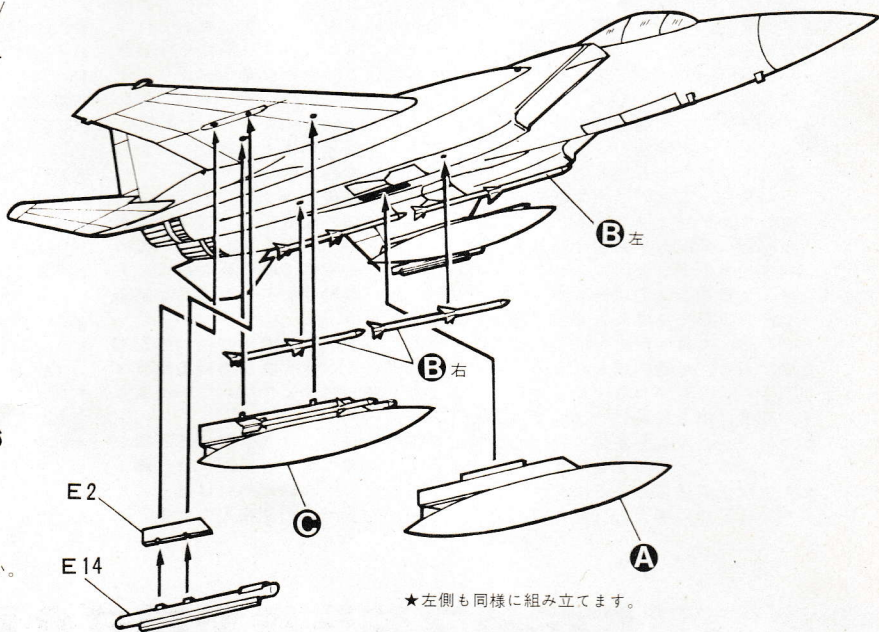
主翼パイロン E3	ライトグレー⑬+⑰
サイドワインダー取付架 E13	ライトグレー⑬+⑰
サイドワインダー E4	ホワイト①
燃料タンク E11、E12	ライトグレー⑬+⑰



〈ラダーの組み立て〉



★ラダーは機体左側にかけて下さい。



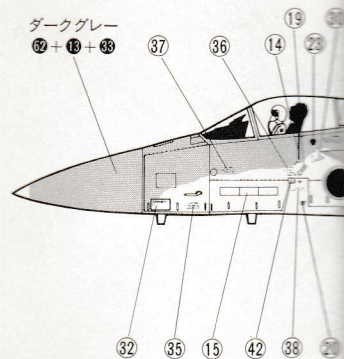
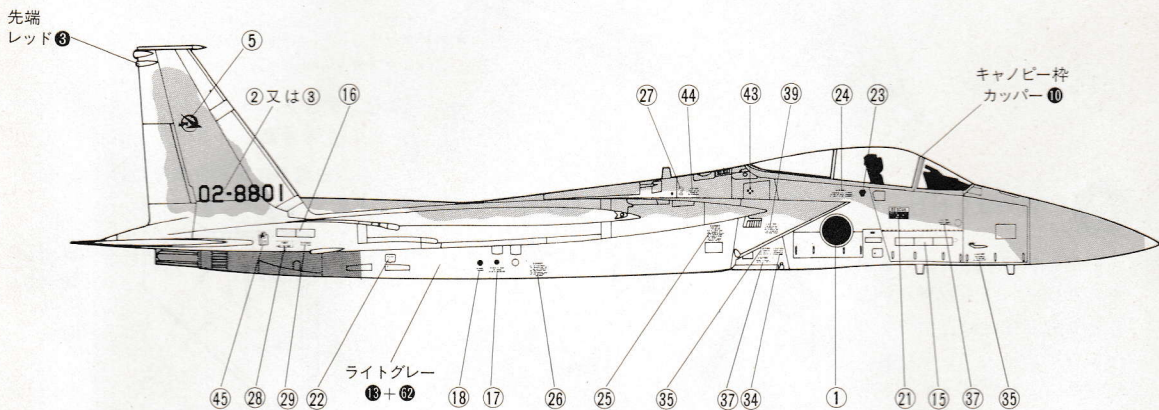
★左側も同様に組み立てます。

Painting & Decals

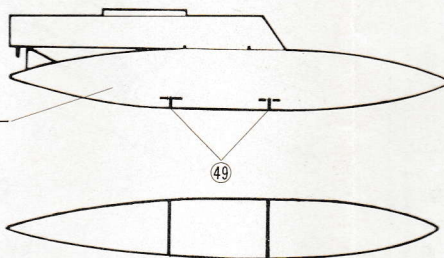
1. マークを台紙か
2. コップの水の中
にとりだします
3. マークを台紙か
4. マークを布でお

家庭用品品質表示法による接着剤品質表示
 取扱い上の注意
 1. 幼児の手の届かないところに保存し、
 いたづらをしない様注意して下さい。
 2. 火気に注意し換気をよくして下さい。
 3. 故意に吸わない様注意して下さい。
 表示者 S Z3000 S Z3006 S Z5013
 部品を取出した空袋は、幼児が触ったりしな
 い様に破りすて下さい。

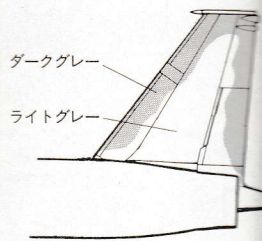
●航空自衛隊 岐阜基地 航空実験団所属機



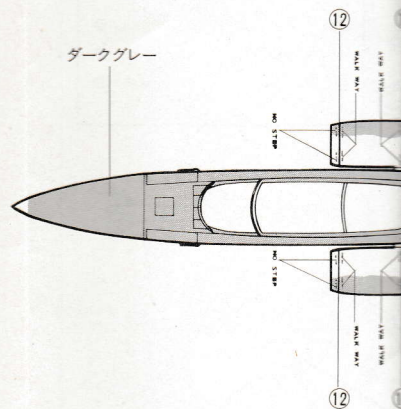
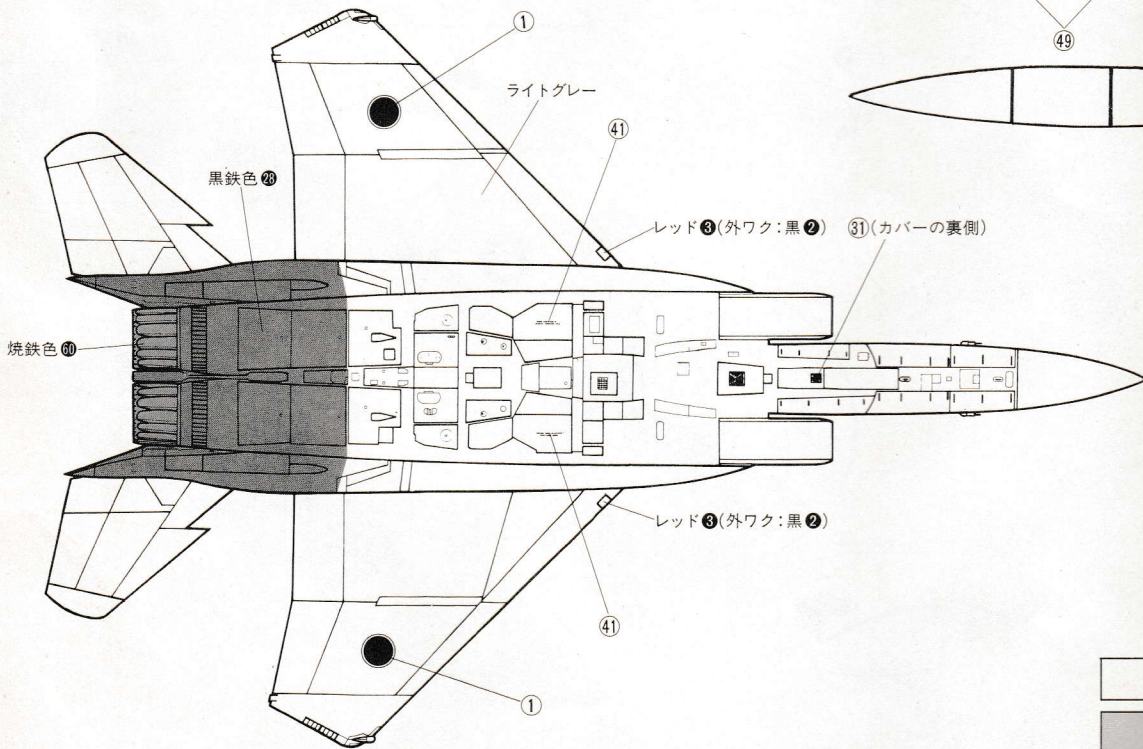
＜燃料タンク＞



＜垂直尾翼内＞



＜上面＞



- ライトグレー
- ダークグレー
- 黒鉄色
- 焼鉄色

